

## 平成 25 年度 仙台市景観総合審議会 専門部会 議事録

日 時 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 午前 10:00～11:30

会 場 仙台市役所本庁舎 2 階 第 5 委員会室

出席委員 武山 良三委員, 相澤 義博専門委員, 阿部 昌孝専門委員,  
石井 光二専門委員, 高橋 貴美江専門委員, 並木 直子専門委員,  
増田 聡専門委員, 脇坂 隆一専門委員

欠席委員 北村 治専門委員, 志子田 伸一専門委員

関係者 宮城県バス協会 武山 勝

仙 台 市 佐野部長, 菊池次長  
経済局観光交流課, 建設局道路計画課

事 務 局 都市整備局計画部都市景観課

1. 開会	
事務局	<p>ただ今より, 平成 25 年度仙台市景観総合審議会専門部会を開会いたします。</p> <p>私は, 本日司会役を務めます, 都市景観課の早川でございます。 よろしくお願いいたします。</p> <p>開会にあたりまして, 都市整備局次長兼計画部長の菊池よりごあいさつ申し上げます。</p>
2. 次長挨拶	
菊池次長	<p>本日はご多忙の中, 仙台市景観総合審議会専門部会にご参加いただき, 誠にありがとうございます。</p> <p>皆様には, 先月 1 月 27 日に開催されました景観総合審議会にて当専門部会の設置を決めていただき, 武山先生に取りまとめをお願い申し上げた次第でございます。</p> <p>当日, 私共のこの検討に至る経過も極々簡単でしたが, ご説明させていただき, それに対して大変貴重なご意見を多数賜りました。</p> <p>今年度もあと 1 か月という時期ではございますが, 我々といたしましては, 何とか年度中に一定の方向性を見出したいと, 少々無茶な計画を立てております。本日は, その後の私共の検討の状況をご説明, ご報告をさせていただいて, それから先ほど申し上げました, 前回皆様から頂きましたご意見を, マトリックスというか, 取りまとめてみましたので, そちらは, まだまだ結論に至るという状況ではございませんが, こんな方向で試していったらどうだろうというものもまとめてみましたので, それにつきましてもご報告させていただき, ご意見を賜りたいと存じます。</p> <p>本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p>

事務局	続きまして、武山部会長よりご挨拶をお願いいたします。
3. 武山部会長挨拶	
武山部会長	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>富山大学技術文化学科の武山と申します。</p> <p>今ご挨拶で、1か月でどこまでできるかというお話がありました。いささか厳しい流れではありますけれども、意外とこういうのがうまくいくというのを、私は数々経験しております。本当に石橋を叩くように積み上げることもありますけれど、意外と脆く崩れさってしまう。急いでやることは、逆に重要なことしかしらないことになりまして、ディテールは追々詰めていくという考え方もいいのかなと思っております。</p> <p>私は今日、富山ではなく東京の方から参りました。年度末で、明日は横浜で「横浜サインを考える」、その次が福岡でサインのプロフェッショナル塾、その次が東京の新宿でワークショップということで、全国各地での研修会等に、そういうことの専門家が非常に少ないということでお声をかけていただいています。</p> <p>今、全国で本当に困っておられます。そのフォーカスとして、トータルでいかに考えていくかというところに、収斂しかけております。ただ具体例が非常に少ないという悩みを、どこも抱えておられまして、そういう観点から考えましても、仙台でのこのような取り組みがなされ、一つの成果に繋がりますと、全国の事例として紹介されるのではないのかなと考えております。</p> <p>ぜひ、皆様のご意見でいい取りまとめを行いたいと思います。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>武山部会長、ありがとうございました。</p> <p>本日の専門部会は、10名中9名の部会委員がご出席でございます。過半数のご出席によりまして、会議は成立しております。</p> <p>また、関係者といたしまして、バス協会より武山事務局長様にご出席でございます。</p> <p>それでは、本日の議事に移りたいと思います。</p> <p>以降の進行につきましては、議長の武山部会長をお願いいたします。</p>
4. 議事「歩行者系案内誘導サイン等整備基本方針の検討について」	
武山部会長	<p>それでは、進めさせていただきます。</p> <p>本日は12時までの予定となっておりますが、議事が「歩行者系案内誘導サイン等整備基本方針の検討について」ということで、資料を準備いただいておりますので、早速事務局の方から、説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>「歩行者系案内誘導サイン等整備基本方針の検討について」ご説明いたします。</p> <p>本日は、1月27日の景観総合審議会でのご意見を踏まえた検討、及び取り組みの考え方と、現在の検討状況について事務局からご説明をし、皆様のご専門からの視点での更なるご審議をお願いしたいと考えております。</p> <p>お手元のA3版資料1ページ目が、前回の審議での委員の皆様のご意見を表にしたものです。</p> <p>まず、上に振ってあります番号ごとに、事務局で考えております対応</p>

	<p>を、ご説明いたします。</p> <p>①「関係機関や部局等をまたがる横断的な検討」につきましては、審議会と並行して部局横断的に検討しております。スクリーンの写真は、その会議の状況の写真になります。</p> <p>②「商店街との連携」、⑩「演出の必要性」、⑪「エリアマネジメントの検討」については、2月3日に景観講演会を開催し、商店街の関係者を含め、およそ100名の方が参加してくださったところです。</p>
都市景観課長	<p>今ご説明しているのは、様々なご意見をいただいたので、これを種類別に仕分けしたのが上の欄でございます、これに番号を振ってございます。</p> <p>それぞれの番号について、これからどういう対応をしていこうかということについて、ご説明しているところでございますので、A3版の資料と合わせてご覧ください。</p>
事務局	<p>③「誘導対象を明確にした検討」、⑤「自転車対策」、⑦「イベント向けと常設サインとを分けた議論」、⑧「ランドマークの考慮」、⑨「求められる情報」、⑩「都市構造を把握させることが有効」、⑪「情報の変化への対応、メンテナンスの考慮」、⑫「仙台らしいブランドイメージ、デザイン」、⑬「他（多）言語標記の整理」、⑭「表示方法の改善」、⑮「景観との調和」につきましては、今後の原案作りの際、考慮していきたいと考えております。</p> <p>④「交通弱者対策」については、関係団体等へのヒアリングを予定しております。</p> <p>⑯「他のメディア等との連携」、⑰「サインを超えた議論」につきましては、サイン以外への広がりも考慮して、関係部局と協議をしているところです。</p> <p>本日、特にお諮りしたいと考えているのは、⑥「JR・地下鉄・バス等の連携強化」につきまして、①と同様、関係機関を入れたワーキングが必要ではないかと考えており、皆様からご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>現在の検討状況ですが、3月末までに原案を作成する方向で進めており、1月27日の景観総合審議会でご説明した、三つの課題と方針策定の視点に沿って進めています。</p> <p>まずは、情報の伝達性への対応です。</p> <p>現在のサインガイドラインを改善し、よりわかりやすいサインといたします。A3版資料2ページ目で、今示しているものと同じ資料の大きいものをつけてございます。その中でいくつかの案をお示ししております。お示ししているのは、あくまでのイメージの段階ですが、このような全市共通のコンセプトとなる内容を、最初に示すことを考えています。</p> <p>情報の連続性への対応につきましては、設置場所ごとに掲示情報を整理し、利用者が連続的に情報を受け取ることができる配置といたします。A3版資料3ページ目に同じものの拡大したものを、お渡ししております。その配置の基本概念を示したのが、左側の図になっております。その考え方に沿って、中心部の都市構造に落とした配置計画が、右側の図です。このように配置することにより、連続性が確保され、改善される</p>

	<p>と考えております。</p> <p>なお、こちらの図は検討イメージであり、具体的な位置等の検討はこれからになります。</p> <p>A3版資料4ページ目が、景観への対応となっております。</p> <p>多くの公共サイン類を整理し、各部局にてサイン整備を行う時の「デザイン見本帳」を作成いたします。</p> <p>以上、三つの内容を「仙台市公共サインガイドブック」としてまとめ、今後のサイン整備の基本方針として位置づけます。</p> <p>本日の審議ですが、審議会の各意見に対する事務局の考え方や現在の基本方針（案）の検討状況に対し、皆様の専門的な知見からの具体的なアドバイス等をいただき、これからの作業に反映していきたいと考えております。</p> <p>なお、今後の予定といたしましては、本日の審議を踏まえ、事務局にて基本方針（案）の検討を進め、4月15日日本専門部会に報告を予定しています。その後、基本方針（案）及びパブリックコメント（案）を作成し、5月13日専門部会、5月27日景観総合審議会を予定しております。説明は以上です。</p>
武山部会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>議論に入る前に、議事録署名人を決めておかななくてはなりませんので、出席委員の中から名簿順に、本日は石井委員にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>今しがたご説明いただきましたけれども、先般の審議会で色々出していただきました意見を①～⑱の観点でマトリックス状に整理いただきました。</p> <p>⑥の「何を」の中の「JR、地下鉄、バス等の連携強化」ということを本日は特にしたいですけれども、全般に前回の意見を補強するもの、あるいは整理を試みた時に、ここが抜けている等、そういう観点をいただけたらということでございます。早速いかがでしょうか。</p>
都市景観課長	<p>本日は、初めての部会ということでございます。</p> <p>今回は、委嘱も含めた審議会の中で、内容をご説明し初見でいきなりという形でご意見を皆様から頂戴しました。そのご意見にはひとつひとつもれなく丁寧に対応させていただきたいと考えておりますが、少し時間も経ちましたので、前回の審議会の時と重なるような部分があっても構いませんので、もう一度理解を深めていただいた段階での率直な進め方ですとか、あるいは我々の持っている問題意識に対して、そこはちょっと違うのではないかというところも含め、ご意見をいただければという場が本日でございますので、よろしく願いいたします。</p>
武山部会長	<p>整理はされていますけれども、この資料を理解するのはなかなか難しいと思いますし、前回の話をして、思いついたらご意見をいただきたいと思います。</p> <p>下に件数が書かれております。一番多い8件の意見が、⑱の観点「どんな風に」で「仙台らしいブランドイメージ、デザイン」です。</p> <p>横軸で見ますと、「仙台市のブランディングという視点」が必要とか、あるいは、「ブランドイメージを訴求するようなランドマークとなり得る</p>

	<p>店舗への誘導」を考えるべき、それから、「歩行者公共サインに『公共の色彩賞』を与えている」。緑色のサインが色々なところで評価されているというご指摘でした。</p> <p>「仙台に相応しいデザインを、専門家に考えてほしい。」「バス停やベンチ等とのデザインの統一性、一体性。」「『〇〇は禁止』といったネガティブなサインが目につく。駅がどちらか等ポジティブなサインが目につかない。」</p> <p>仙台の深緑のサイン、色について半分ぐらい意見が出ていて、これが一番多い仙台のイメージというところでした。</p> <p>二番目が、求められる情報です。色々な情報がとにかく出ているので、まず整理してくださいという意見、国防会議のサインは案内と誘導、会議開催の周知が必要だという意見。</p> <p>マナーアップはサインだけではなく、キャンペーン等別の方法も必要、サイン以外の色々な取り組みも関連しているという意見。</p> <p>その他、歩行者向けのサインも反対側は車用、また石井委員からも「〇〇は禁止」という表現が目につくという意見、目的地の距離や交通手段等必要な情報を盛り込む必要があるという意見。少しずつ思い出していただけたでしょうか。</p>
増田専門委員	<p>質問ですけれど、資料の中に、下が現行で上が新しいデザインという対応がございますけれど、概ねどれくらいの日程で下が上に置き換わっていくのでしょうか。</p> <p>予算がこういうものにシステマティックにはつきにくいとも思いますし、途中までは進めなければということもあるかもしれません。説明資料にサインの分布図も載っていますけれど、全体としてどれくらいの予算で、どういうスケジュールで進んでいくと考えればいいのかというのを、少し情報を教えていただければ。</p>
都市景観課長	<p>それでは、お答えします。</p> <p>まず、金額的な設定を先にはごしません。</p> <p>段取りといたしましては、従来からご説明しておりますように、第一段階としては、国連防災世界会議が来年3月にございます。</p> <p>そうしますと、年内までには整備を終えていなければならない。その時に、今回配置計画でプロットをしようとしているところの内、特に国連防災世界会議にお見えになる方々が、通るであろうルートの部分を中心に、まず年内に整備をします。</p> <p>その後、東西線開業に向けてという部分については、もう後半年くらい時間的な余裕があるかと思えますけれども、次の段階で整備をする。それ以外のものについては、また段階的にやっていると、概ねの話としてはそういうことで考えております。</p>
武山部会長	<p>具体的な絵で、驚くことなかれ、これだけでできているのが凄いなと思って見ておりますが、せつかくこのような絵が出ていますので、先ほどの論点の整理と合わせて見た方がわかりやすいのかなと思います。</p> <p>今、スケジュールのお話がありました。また改善提案として、地図が少しベージュ色のようなカラーになっている一方で、ベース色は現行を維持するというのが一つの案として上がってきております。こういった</p>

	<p>ことに対しても意見をいただいてもいいですよ。私は随分見やすくなったと思いますが、どうですか。</p>
並木専門委員	<p>見やすくいいとは思いますが、前回の審議会で、「地図が理解できない」という意見があって、言われてみれば確かに思ったのですけれど、その辺りは何かご検討されたのでしょうか。地図がまったくなくていいということではないと思いますが、地図を表示するより、この面積をもう少し違う方法に使うことも、もしかしたらあるのかなと思います。</p> <p>また、スマートフォン等ですべての方が見るわけではないかもしれませんが、システムを使っての誘導というのものもあるのかなと思います。</p> <p>2枚目の「連続性」ですが、連続性はあると思いますが、点と点ですよ。審議会に参加させていただいた後に、周囲の人にも聞いた感じですと、アーケードには、「ぶらんどーむ」とか「サンモール」、「マープルロード」、「クリスロード」と名前があって、私はずっと仙台に住んでいるからわかりますが、例えば仙台に10年くらい前から住んでいるような人は、未だにわからないと。黄色いアーケードは「ぶらんどーむ」だねとか、青いアーケードは「サンモール」だねと、それは、本当に通りを青色にするのではなくて、例えばベンチをそういう色で素敵にするとか、誰にもわかりやすい呼び名で行けるようになっていっていると、もっと簡単に理解できるんじゃないかと言っていました。面的な要素で考えてもいいのかなと思いました。</p>
武山部会長	事務局いかがですか？
都市景観課長	<p>お答えいたします。</p> <p>まず、地図が理解できない方もかなり多いという、堀先生のお話だったと思いますけれども、これはなかなか難しい課題で、他のピクトグラムですとか、方向性を示す矢羽根のようなサインですとか、他の代替できる方法も考えていかななくてはならないという意識は持っておりますが、まだ結論までいっておりません。</p> <p>冒頭申し上げるのを忘れておりましたが、本当を申し上げますと、今回、絵を出してしまうことが怖いところがありました。というのは、出してしまうとそのように決まっているのではないかと思われてしまうかなと思いましたが、何も出さないとイメージをつかんでいただけないものですからお示したところです。</p> <p>最終的にガイドブックとしてまとめようとしているものが、三部構成であり、第一部では、全市に及ぶようなコンセプトの部分を示し、第二部では、今回は中心部を取り上げて、拠点性に配慮した配置の計画を示し、第三部には、テーマ設定ごとの見本帳と申しますか、デザインや出し方をこのようにできるだけしましようという具体的な事例をあげていく。そういう三部構成にしていこうと考えているというそこまでの部分が、基本的には今ほぼ決めているところで、中身はこれからだということでございます。</p> <p>先ほどの地図の部分については、代替手段について十分考えなくてはいけないと思っているところで、これからでございます。それから、ちょっと聞こえにくかったのですが、地図がわかりにくいので同じ場所に別のものを表示した方がいいのではという意味でしたでしょうか。</p>

並木専門委員	<p>もし地図を使わないとしたらスペースが空くので、もっと他のものを入れることもできる。その代りということではないです。例えば、多言語の表記に大きくそこを利用してもっとわかりやすくできるかもしれないですし。</p>
都市景観課長	<p>代替の手段というのも勿論、考えていきつつも、わかる人は少ないとは言われたのですが、やはり地図情報は地図情報で重要性はあると思っているので、その地図そのものも見やすくしていこうと考えています。必ずしも今地図があるところをどんどん違うものに差し替えるということは、今のところは考えておりません。寧ろ、地図の代替手段が先ほどの話で、では地図はどうするんだということも、もう一つ次の話としては考えているところです。</p> <p>少し話が広がりますが、仙台らしいブランドイメージという意見が一番多かったというお話がさっき出ました。そこの兼ね合いで申し上げますと、緑色のサインというのが、地図の地色も緑色になっていまして、仙台をイメージさせるというか、景観にマッチさせるサインという意味では、比較的好いてくださる方が多く、評判は割といいのですけれど、逆に地図、サイン本来の機能として見やすいかということになると、ちょっと改善の余地があるのかなと考えていまして、今考えているお示した一つ目のコンセプトのところで、フレームのところは従来の仙台らしい深緑色をキープしつつも、地図を見やすくするところで地色を少し変えていこうかなと事務局側は考えているところでございます。</p> <p>最後に、アーケードのところで名前を言われてもわからないというお話が、実は武山先生からもご指摘いただいたことがございます。名前だけ言われてもその位置関係がわからないので方向がわからないと。ここは大分前から問題意識としては持っておりました。</p> <p>都市を構造的に理解させないとうまく辿っていけないというのは、逆に言うと、大きな通りで構造的に形成されているのが仙台の特徴でもあると。そういうお話を脇坂委員や増田委員、様々な方からいただいております。その辺の考慮の仕方をこれから工夫していこうという中で、アーケードももう少しわかりやすくしていきたいと考えております。</p>
武山部会長	<p>ちょっと補完しておきますと、例えば JR の線とアーケードのライン、2本だけだったらわかりますよね。そこにいっぱい情報が入ってくるから埋没してしまうわけですし、その情報のヒエラルキーと言いますか、どこまで出すのかというのがことと、アーケードの名前が憶えられないこと。それが、ランドマークとネーミングがしっかりわかりやすい形で入ってくると、非常に理解しやすいところもあると思います。</p> <p>だから、おっしゃるようなベンチの色がいいのか、何か特徴的な、「あの〇〇というベンチのところを右に行ったら市役所ですよ」のように言葉で話せるようなものなのか、どのような情報を与えていくかということが、一番の骨格だと思います。</p>
石井専門委員	<p>中心部商店街の仕事をしていますがおっしゃるとおりでして、多分、仙台市民の方でも、それこそ「マーブルロード」とか「クリスロード」ではなく、実は「一番町通り」、「中央通り」という方がわかりやすい。商店街の皆さんも、うちは「中央通り」じゃなくて「おおまち」だとは</p>

	<p>言わないと思います。ですから、「東一番丁通り」、「中央通り」という通り名でというのもありかなという気はしております。</p> <p>地図の問題に関しましては、やはり地図の方がわかりやすい人間もいますから、両方をうまくつなげてほしいと思います。</p> <p>アーケードには、アーケードの中に表示が少ないという問題があります。今、藤崎さんの一番町と中央通の角に行くと分かるのですが、誰かがコピーのラミネートで「駅」「市役所」と作って貼っている悲しい状態です。場所の問題はあると思いますけれど、例にあるメートルも距離も表示している矢羽根型とか、ああいうものを適宜につけることによって、わかりやすくなるのかなと。常々「中央通り」「一番町」をフィールドにしている人間としては、最低限やってほしい部分です。</p>
武山部会長	はい、ありがとうございます。
相澤専門委員	<p>J R です。私は仙台市民なので、この地図を見て市役所はこっちとわかるのですが、地図の範囲の問題もあると思います。</p> <p>駅では、「〇〇へ行くのにどのバスに乗ればいいですか?」「地下鉄の乗り換えをどうすればいいですか?」と、駅員が聞かれます。どれが最適なのは私もわかりませんが、仙台駅の周辺だけの地図を見て動かれる人はとても少ないのではないかなというのが感想です。</p> <p>それと、J R とバス、それ以外地下鉄という交通の乗り換え・ご案内がわからない、わかりにくいという苦情が一番多いです。</p> <p>確かに外へ出ると、バス乗り場のルート・行先表示で、何番のブースという看板はあるのですが、あれを見ても、「泉ビレッジ行き」が市役所前を通るのか全くわからないですよね。バスルートの絵は、ものすごく複雑で、市民の私でもこのバスで仙台市役所へ行くかどうかのわかりにくいので、仙台市以外の方が来て初めてバスに乗って行こうと思ったら、まず不可能だと思います。その整理は難しい問題だとは思いますが、非常にわかりにくいと思います。</p> <p>地下鉄は国連防災世界会議の時にはできていないのですが、東西線が開通すると、仙台駅の今のバスプールの地下あたりが、東西線の仙台駅コンコースになり、そこを經由して南北線にも乗れますので、ご案内はわかりやすくなると思っていますし、J R 側としましてもご案内は大分スムーズになると思っています。地図情報とJ R 側からバスや地下鉄に乗る案内はとりあえずできるのですが、そこから目的地へ何行きに乗ってくださいというご案内が、非常に難しいという状況が実態としてあり、現実としてお客様からの苦情をいただいています。</p>
武山部会長	今、バス情報は、1階コンコースの案内所に行って初めてわかるのですか。
相澤専門委員	そうです。バスはJ R の駅では殆ど案内できないと思います。何行きでどこへ行ったらいいのかというご案内は不可能ですので、バスプールの中に案内所が1箇所あるのでそちらにとか、駅の2階コンコースの案内所をご案内するという形になっています。
武山部会長	はい、ありがとうございます。
増田専門委員	関連情報ですが、以前からN P O でバスマップなどの活動をしています。100円パックのルート内バスのマップを昔作ったり、「仙台市文学館」



	<p>へ行くにはどこから乗ったら、どこで降りるべきかというアナウンスサイトをWebの上に開いていたり、駅の中でもう少しわかりやすいバスマップの実験をしたり、時々しているのですけれども、殆どインパクトがありません。</p> <p>東西線開業とともにバスルートの大幅再編という話もありますから、その時期に合わせて交通系の案内も全体像を変えることも必要ではないかなと思います。</p> <p>あともう一つ、僕はあまり空間認知能力がないので、ダイエーの前の地下通路に降りると、目的地に出られないんです。色々情報はあっても、入口が45°ずれていて、真ん中に噴水で回されて、どちらを向いているのかわかる人とわからない人が多分います。そういう迷路みたいなのが、仙台の中にかくつかあるように思いますので、そういうところは少し手厚く情報を出すようにしていただきたいと思います。</p>
武山部会長	<p>昔、銀座でも地下鉄から出るところに、ここを上がったらこの風景ですよと上へ上がったところの写真を大きく掲示したことがあります。特に45°は一番迷いやすい構造ですね。</p>
阿部専門委員	<p>私は旅行会社の関係なので、観光客の目線でお話します。</p> <p>この改善デザインで、地図をグリーンから少し明るい色にするというのは、非常に良いことだと思っているのですけれども、改善デザインのところに、下に小さな小窓があります。ある程度こういう小窓のところにポイントとなるランドマーク的なところがきちっと入って、アーケードもランドマーク的に色でわかるようにするとかやっていると、来た方にとってはわかりやすいのかなと思います。</p> <p>ポイントはバスターミナルなのか、アーケードなのか考えた中で、デザインも考えていった方が、恐らくわかりやすいのかなと思いました。</p> <p>あとの問題は、一つの看板デザインも大事だと思いますが、どこにつけるかということが一番重要だと思いますので、そこをもう少し深掘りして、どこにどういう形の情報を付けていくかということを議論していった方がいいのかなと思いました。</p>
武山部会長	<p>配置する時に、こういう点に気を付けていただきたいというご要望はございますか。</p>
阿部専門委員	<p>やはり単発のサインをただつけますよ、全体がわかりますよというのではなくて、駅を拠点として、どういう誘導といいますか、流れになっているのかを、明確にわかるようにしていただきたいです。</p> <p>今、観光ではユニバーサルツーリズムと言い始めて、ユニバーサルデザインと言いますか、弱者というわけではありませんけれど、そういった方との連動も取り入れています。</p> <p>あと、羽田空港は多言語表記より、色別にわかるようにして床に導線を作りましたよね。景観との連携、どうマッチするかということもありますが、やっぱり色は大事だと思います。四言語、多言語を地図に入れるというのは、結構大変ですし、わかりやすい、デザインとマッチした形で色を取り入れ、ランドマークというか、ポイントを小窓の中に入れて、今どの位置にいるのかがわかるような形で配置していくのが良いと思います。</p>

武山部会長	何か事務局からコメントはありますか。
都市景観課長	<p>色遣いが非常に重要だというのは、大変参考になりますので、その辺りも考慮しながら対応していきたいと考えております。</p> <p>多言語の話でございますけれども、現時点で事務局は、場所にもよりますが、大概のところというのは日本語と英語とピクトグラム、これで十分ではないかと考えております。と言いますのは、あまりたくさんの言語がごちゃごちゃに入ってしまうと、ノイズといいますか、かえってわかりづらくなってしまいます。</p> <p>サイン整備は手段であり、決してそれが目標ではなく、案内誘導をすることが目標なわけなので、手段の一つであるサイン整備はそういう形にして、もし他の言語でのご案内が必要であれば、パンフレットですか、他の方法論と合わせ技でやっていくのかなというのが、今、事務局で考えている方向性でございます。</p>
阿部専門委員	私もそう思います。この地図の中に四言語入れたら大変ですので、そこを、色なのか、なにかそういうものでうまく補完する、その方が多分いいのかなと思います。
武山部会長	<p>ランドマークについては、今現在地が見えていますけれど、特に重要なものは二つか三つだと思いますけれど、1メートル以上離れたポジションでも見られるという考え方もありえると思います。</p> <p>GPSじゃないですけど、3点あると方向は確定します。例えばJRの駅があって、〇〇と△△という関係性ですよ。それをうまく表示できればいいのではと思います。</p> <p>ついでですけど、前にも申し上げたかもしれませんが、見る位置が変わって地図がグルグル回ると、それだけでまたわからなくなることもあります。できるだけ地図の設置位置の方角を統一して、いつ見ても北が上の地図が歩道上にあるような、何かそういう対策を立てていただけたらいいのではないかなと思います。</p>
高橋専門委員	<p>私もよく個人的に旅行もしますし、色々な都市へ出かけます。その時はマップをプリントアウトしたものを持って、現地ではスマートフォン等を利用して移動しています。資料では、仙台駅が現在地となっておりますが、駅から離れたところでは、その周辺のエリアのみがマップ上に落とし込まれていて、駅からどのくらい距離なのかとか、その辺がわからないと思います。例えばこの小窓のところに広域のマップを、これの拡大はここですよというものがあると位置関係がわかるかなと思います。移動して目的地まで来たけれど、その後がまた次の目的地までどのくらいなのか、バスが良いのか、地下鉄が良いのか、タクシーじゃないともう行けないのかというところが、ちょっとわからないと思います。</p> <p>多言語表記でございますが、日本語と英語のみというお話については、マップはそれで構わないと思いますが、やはりランドマークであるとか、必要最小限という部分で構わないので、今はどこの街に行っても中国語の繁体字、簡体字、韓国語、英語と日本語の表記は必ずあるのが実状だと思います。台湾の方などは個人で動かれる方が多いですし、そういう意味では、要所だけでも結構ですので、表示を入れていただければと思います。</p>

	<p>あとはバス，二次交通ですね。今の仙台の状況を考えて，サインだけでバスに誘導するとか，目的地までの誘導案内は，多分不可能だと思いますので，インフォメーションの充実と，乗り換えの部分でWeb上でご案内できるようなシステムを作る方が，よろしいと思います。首都圏のような一律 200 円とか，220 円といった料金体系でもないですし，100 円パックのところは良いですけども，少し離れたところになると料金がわからないですし，バスの中で両替しなければならないというのわからないかもしれません。後ろから乗って前から降りることも各都市によっても違いますので，その辺もご紹介できるようなものがあれば良いと思います。</p>
武山部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私から関連の質問ですけど，Webサイトでバス停を入れたらそこまでの行き方を案内してくれるサポートというか，サービスは仙台市に現在ありますか。僕が探した時には見つけれなかったの。</p>
高橋専門委員	<p>ある程度わかっているように，どこのバス停から何行きに乗るといえるのはできるサイトは有るんですけど，目的地を入れてどこ行きに乗れば良いという答えがでるサイトはないんです。</p>
武山部会長	<p>それは，ぜひほしいですよ。他はいかがでしょうか？</p>
増田専門委員	<p>関連して，地下鉄とバス，仙台市営と宮城交通と一緒にサイトはないので，ぜひ統一した情報提供サイトを作っていただきたいなど。</p>
武山部会長	<p>仙台市さん，いかがですか。</p>
都市景観課長	<p>ちょっとずるいのですが，お答えできる範囲を超えておりますので，こういうご意見があったというのは，上に伝えて検討してみたいと思いますが。</p>
武山部会長	<p>武山さんいかがですか。</p>
宮城県バス協会 武山さん	<p>二次交通ということで，大分バスの話がでているのですが，非常に多角的で難しい話なんですよ。皆さんがおっしゃるとおり整理できればいいのですが，非常に幅が広く奥行があるので，できる限り仙台市なり宮城交通さんというところもあるのですが，協会の管理事業者でもありますので，今後地下鉄の開業まで検討させていただきたいと，それで利用者のいくらかの利便性を図っていきたいと感じております。</p>
武山部会長	<p>脇坂さん，いかがですか。</p>
脇坂専門委員	<p>前回もお話させていただいたのですが，2ページ目の，交通結節点や交差点で，階層別にサインがいるのではないかという情報の連続性の話で，サインの階層構造という図になっているかと思いますが，そうすると大拠点は仙台駅だけになってしまって，先ほど武山先生が言ったような3点が認知できて今この辺かということが，非常にわかりにくいのではないのかなという感じがします。</p> <p>仙台の観光客目線でも市民目線でもそうなんですけど，どうこの空間を認知するか，してもらおうかというのが結構大事でして，私は仙台市民二度目ですが，最初の時はアーケードのT字をベースに，仙台の街中を認知して，その中で私的には，「さくらの」「藤崎」「三越」が認知の拠点で，結構そういう市民が多いのではないかと思います。</p> <p>一方，観光客はそうではなくて，並木の連続性があるって，通りがあっ</p>

	<p>て、あと「勾当台公園」や「国分町」、「仙台城」とかが、認知の拠点かなと思います。</p> <p>逆に言うと、ランドマークが仙台にあるのかというと、仙台のガイドブックを見ても伊達正宗の像がありますが、あれはランドマークではなくて、仙台駅もランドマークではなくて、あらゆる建物がランドマークではない都市だと思うんですね。</p> <p>すると、意外と通りの意味、通りで認知するのが大きいと思うのと、「勾当台公園」は結構強いと思うんですよ。あとは「国分町」とか。</p> <p>ですから、住民目線でも観光客目線でも、主要な拠点とランドマークがないからとても作りにくいのですけれども、そういったところをどう案内するのかとか、どうそこに「いる」というのがわかるのかとか、要するに仙台の街をどう捉えるのかというのがまずあって、それからこれがあると何となく腑に落ちる感じがすると思いますので、交通結節点とか交差点とかだけで作らない方が、観光客にとっても住民にとってもいいのではないかなと思います。</p>
武山部会長	仙台市の観光案内所は、駅のみですか。
観光交流課	今は駅です。
武山部会長	地方都市では、なかなか観光案内所まではいかなくて、街の駅のような拠点を作って、そこに行くのと観光パンフレットがあるとか、お手洗いを貸してもらえとか、民間の方と協働してそういうことをサポートしてもらったら、街の駅と認定してもらって地図にも入れていきましょうという取り組みがありますけれど、仙台ではどうですか。
石井専門委員	私たちがやっている「仙台なびっく」という一番町の施設と、中央通りの「東北ろっけんパーク」にそういう機能はありますが、そこは未来永劫あるものではなくて、一方で、商店街の中でも「案内をこの店ではしますよ」という表示は出しています。その店に入ると、基本的な情報は会話で教えてくれるというのがあります。でもそれは、地図ではプロットされてはいないです。何て言いましたっけ。
高橋専門委員	「仙台街角案内所」です。
石井専門委員	プロットされてはいませんがあるにはある。目立ってはいないかもしれません。
増田専門委員	この3ページのところに、①と書いてありますよね。
武山部会長	インフォメーション
増田専門委員	はい。海外だとここに行くのと情報案内所があるというサインです。でも、仙台だと書いてはあるけど、ここへ行っても誰もいなくて見てください、インフォメーションセンターにはなっていないので、そこが海外の人は、混乱するかもしれないですね。
武山部会長	先ほど脇坂さんのお話から、観光客目線で私も歩いたとすると、「仙台」「杜の都」「並木」で、定禅寺の彫刻が置いてあるところで写真を撮って帰ってきたら、これで仙台へ行った証拠ができたぞと思うので、そういうところにしっかりランドマークを作っていくとよいですね。そこへ行けば案内所もあるし、色々なサポートが受けられるよというような拠点を、市内に3か所ほど、駅以外にできると、これは完全にランドマ

	<p>ークになりますよね。そうならないと、ランドマークとしてまず認識していただけないし、誰もわからない。観光客が行っても何のことですかとなる。地元の方がご存じで、日常的に使っておられるところがランドマークであるべきだと思います。</p>
高橋専門委員	<p>メディアテークもそうですかね。</p>
増田専門委員	<p>仙台の都市骨格で、広瀬川の存在がありますけれども、片平の一部とか、西公園の奥の方とか、行かないと川がどこを流れているかわからないこともあって、皆さん広瀬川の名前の方がよくご存じだと思います。ほんの少しでも都市構造がそうなっているというのが、伝えられる情報があるといいかもしれません。多分、ここが機能しないと、外の大きな境というイメージでもあるので、どこでそれを超えますかというのがよくわかりません。</p>
武山部会長	<p>ヨーロッパでは、特に旧市街では、教会があって、ランドマークといえますか、それを中心に考えることができます。仙台に高層ビルがいくつかあると思うのですが、周辺から見える高層ビルにパブリックな施設が入っていると、ランドマーク化しやすいのですが、そういう何か手ごろなビルはありませんか。</p>
高橋専門委員	<p>ないですね。少し離れています。</p>
阿部専門委員	<p>先ほどお話がありましたけれども、ランドマークとして目印としては、やはりアーケードとか道路とかがポイントだと思うので、ここは先ほどの話ではありませんが、わかりやすくするべきだと思います。</p> <p>あと、私共がよそに行くと、ホテルの場所で歩くことができますので、ホテルの位置関係を明確にするとよその人は歩きやすくわかりやすいというのがあると思います。</p>
武山部会長	<p>観光客の方はまずホテルへ行きたいわけですからね。</p> <p>京都は通りと筋で、大阪もそうでしたかね。仙台は全部通りという理解でいいですか。</p>
増田専門委員	<p>一応、北〇番丁とか東〇番丁というのはあるのですが、よくわかりません。</p>
武山部会長	<p>例えば、駅から順番に、1、2、3と青葉通りまで行って、数字が大きくなるほど駅から離れるとかそういう通り番号みたいなものはありますか。</p>
高橋専門委員	<p>起点が駅ではないですがあります。</p>
石井専門委員	<p>一番町の真ん中の方から、東一番丁、東二番丁、三番丁です。</p>
武山部会長	<p>番丁がそれを示していると。</p>
石井専門委員	<p>なかなかわかりにくいかもしれません。</p>
高橋専門委員	<p>東に行くのと、北に行くのとあります。</p>
武山部会長	<p>西欧だとドアごとに番地がついているので、それを追いかけて、通り名と番地がわかたら位置が特定できます。お店が必ず通りのナンバーを付けたりすると、そういうサインになっていくのですけれどね。</p>
高橋専門委員	<p>住所とはちがうのでちょっと難しいです。</p>
増田専門委員	<p>比較的有名な地名の北四番丁とか東二番丁なら位置関係は多くの方がわかっていると思いますけれど、その外はこれが何番丁かというのは、多分殆どわかっている人はいないのではないかと思います。</p>

石井専門委員	番号が連続していないので。
武山部会長	その辺が構造を描ききれないところなので、どう補完するかですよね。議論の中では課題の認識と方向性というところでは、従来出していたものと重複するところもあると思いますが、ランドマークの話が多く出ています。そして、色の使い方がかなり出てまいりました。それから二次交通を含めてJRさんとの結節などの乗り換えについて、それから多言語の話が出ました。あと、こういう観点でぜひ検討しておいた方がいいというご意見ございましたらどうぞ。
石井専門委員	若干、ずれるかもしれませんが、音声の案内という考え方です。景観、サインかと言えるのか、守備範囲かわかりませんが。 例えば、皆さんがおっしゃるようにバスに乗りにくい。多言語のチャンネルがあって、中国語、英語を選んで、行きたい場所を選ぶ。そうすると「何番のバスに乗ってください」、「料金いくらです」、と案内される。そこまでできるかどうかはありますが、そうなると便利だと思います。図で示すというのは不可能に近いですし、皆さんがおっしゃるように、このバスがどこを通るかというのはわかりづらい。 他の都市へ行ってわかるのは、バスの運転手さんにここを通りますかと聞くのが一番わかりやすい。外国の方はなかなかそうもいかないでしょうし、忙しさや時間の問題もありますから、音声での案内も検討できないのかなど、いつも考えています。
武山部会長	今はデジタルキヨスクみたいなものは、コンコースにつけておられますね。
都市景観課長	審議会でも、音の重要性、音も景観の一部だと、ちょっと違う観点のお話もありました。それとはまた違う話として、ご指摘のような音を使った誘導が重要だというのは、今委託をしてアドバイスをいただいているのが、公益社団法人日本サインデザイン協会の会長さんで、今日お見えになっておられますけれども、そちらからも、今は外国人の方というお話でしたけれども、外国人の方も含めた交通弱者という観点で言いますと、視覚障がい者の方なども、例えば点字の識字率というのは、我々が思っているよりずっと低いということ等も含めて、音での対応が重要だというお話はいただいております。今回どこまで対応ができるかはちょっとわからないのですけれども、中期的には大事な、対応が必要な分野ではないかという問題意識は持っています。
武山部会長	ありがとうございます。他にございませんか。
並木専門委員	他部局との連携も視野に入れて議論くださっていると思います。今後、今回の意見などをサインにも反映させていくと思うのですが、例えば、パンフレットとかスマートフォンとか、他メディアとの連携やバスの話など、サインだけでは補完できないことがたくさんあることが見えてきています。 そこで、今後市が作っていく観光パンフレットでは、さっき言った色の部分の見せ方や、ランドマークの入れ方などを同じように表記しようとか、そういう整備を同時に進める方向で考えていらっしゃるというのですが。
武山部会長	どうですか。

菊地次長	<p>本日のご議論でも多様なご意見があつて、交通の乗り換えの話でありますとか、ただ今の音声インフォメーションの話も含めて、景観という切り口だけでどこまで捉えるのかと、もしかしたら、委員の皆様も迷いながら意見をおっしゃっているのかなと想像するところがあります。</p> <p>前回の審議会の時に、我々の想いをお話しさせていただきました。つまりなぜこういうご議論をしていただくのかというのが、例えば、国連防災世界会議があるとか、大きいのは東西線の開通があつて、この場でPRさせていただくと、東西方向の交通の処理をするという意味にとどまらず、南北線と合わせて仙台市の軸を、街の軸を作るんだということで、整備を進めています。当然東西線のみならず、今一生懸命バス再編の検討をしているところですけど、今日もお話にも出ましたが、バスへの結節をスムーズにして、当然JRさんへの乗り換えもスムーズにする。動きやすい街を創るために、それを契機にこのご議論をしていただいているものです。</p> <p>景観の我々がやっているサインの計画の中では反映できることは少ないかもしれませんが、東西線の開通に合わせた様々な仙台市の施策に、いただいたご意見は、必ずや反映できると考えてございますので、どうぞ、その辺の整理は私共に任せていただいて、様々なご意見を賜ればと思っております。どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
阿部専門委員	<p>一ついいですか。多言語について、私も地図への多言語表記は多分難しいと思うのですが、高橋委員のご意見もありましたが、最低矢羽根型の誘導サインは、英語と日本語だけではなくて、多言語にした方が良いと思います。</p> <p>これは、外国人の方からみると、おもてなしにも繋がってくると思いますので、英語と日本語だけとなると、台湾だとか中国、韓国から来た場合、その辺がどうなのかなというのと、マップはありますけれど最低誘導サインが多言語じゃないと歩きにくい。ヨーロッパなどでは日本人が少なくなって日本語が殆どなくなって、逆に全部中国語になった感じはありますけれども、最低限の誘導サインは多言語がいいと思います。</p>
武山部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ランドマークが絞り込まれると表示する矢羽根の数が限定されて、多言語がやりやすいと関連しますね。</p> <p>それから、先ほどから広がり話もありました。同じかもしれませんが、継続性といいますか、メンテナンスも含めた部分ですけど、議論されて設置されたファーストロットはいいけど、セカンドロットから乱れだして、いつの間にかめちゃくちゃになってしまったというのは、大体どこでも多い事例です。市内の情報を一元的に担当する仕組みといますか、会議を作っていただくということと、更に、JRさんなど周辺で関連される組織の方々と席を交える情報の管理組織を作っていくことが、デザインを考えることと同義くらい重要だと思います。</p> <p>高岡市でも、今日の議論のような、公共のサインと観光のパンフレットと統一しましょうとやっているのですが、ふたを開けるとものすごくディテールが難しい。例えば、資料にあるパンフレットをそのまま拡大して地図やサインになったら文字のバランスが大変乱れますし、逆に大</p>

	<p>きなサインを小さくするとこれまた読めなくなります。そういう大きさのバランスがむずかしい。</p> <p>それから観光マップは、具体的にホテルの名前とかお店の名前とかを、どんどん入れたいというニーズがありまして、その辺のすみわけもあります。レイヤーで、これは入れてこれは駄目とは簡単にすまないの、かなり突っ込んだディテールが必要になります。申し上げたようなちゃんとした窓口を作っておかないと、めちゃくちゃになるかなと思います。</p>
並木専門委員	<p>1ページ目に示していただいていた地色をベージュにするというサインについて、先ほど阿部専門委員もご指摘していたようにどこに置くのかがすごく大事だと思いますが、今、実際このサインがどこに置いてあるのか、私はイマイチ思い当たりません。何となくここにあったかなとは思うのですけれども、これを活用したことは正直ないです。地下鉄を降りて駅の中にあるマップは見た記憶はすごくあるのですが。皆これを利用しているのかを、実際分析した方がいいと思います。利用されているのかもしれないのですけれども、あまり活用されていないように、自分は感じています。</p>
武山部会長	<p>いかがでしょうか。</p>
高橋専門委員	<p>私はメディアテークの前で見えていましたが、それを観光客の方がこれを見てわかるかなと思って見ると、広瀬川があつてメディアテークがあることも広域がないのでちょっとわかりにくいかもしれないと思って、先ほど申し上げました。</p>
並木専門委員	<p>そもそもどこにあるのか、何か所ぐらいあるのだろうと思って。</p>
高橋専門委員	<p>地下鉄の勾当台駅を出たすぐのところとか、るーぷるバスの停留場ですとか、そういったところにあるので、市民はあまり使わないかもしれない。そういう位置にあるんですよ。</p>
武山部会長	<p>配置はかなり頑張っておられると思いますよ。注意してご覧になっていただいたら、重要な横断歩道を渡ったところとか、地下鉄あがったところとか、全部一応ついています。</p>
都市景観課長	<p>ちょっとわかりにくいのですが、先ほどお示ししたパワーポイントの右側の写真をご覧になってください。</p> <p>市役所から定禅寺通りに出てきたところでして、あれはちょっと陰になっていてわからないのですが、何をやっているのかというと、今地図が表示されているところに、別の色味を貼ってみて、皆でシミュレーションをしてみているところなんです。あそこにございます。</p>
並木専門委員	<p>そもそも活用されている場所にあるかなというのとか、これを見たらいいんだよという感じになっているのかなというの、自分としては正直言ってちょっとよくわからない。</p>
武山部会長	<p>景観に馴染み過ぎていて、ちょっと埋没しているというか、水団の術という感じになっていますね。</p>
阿部専門委員	<p>今回、改善の場合は、現存のところを変えるという形なんですか？</p>
都市景観課長	<p>まず、拠点性の配置計画で今ないようなところについては、新設という場合もございます。</p> <p>既存のものを一度に直せるかという、そこはまた難しいので、予算の範囲で順番をつけて、その順番というのは、先ほど申し上げたような</p>



	<p>会議や東西線の開業に合わせて、一番目につくところ、或いは必要なところから順番にやっていくと。段階的にやっていくということで、そのための全体の方向性をまず決めるというところでございます。</p>
武山部会長	<p>目立たないというご指摘もございましたが、それなりに今のサインがつけられるときにも努力されています。色々な障害物があったり、設置できる場所も少ない中で、よく見るとかなりのベストポジションにそれぞれ設置されているのではないかなと思いますし、その中でどう改善していくかということを考えざるをえないかなと思います。</p>
脇坂専門委員	<p>私は、このサインのデザインや色は好きだと前回言いましたけれども、このデザインが馴染まないところも仙台市内にあります。一つはアーケード、もう一つは国分町でして、このデザインが相応しくないというか、もっといい形があるかもしれない場所というのは、実は仙台市内にあると思います。</p> <p>ベースはこれでいいと思うのですが、繁華街的なところでは、ちょっと盛り下げるといふか寂しいところもあると思います。これがデザインコードできちっとこれでやるというのではなく、杜の都で基本はこうだけど、仙台の街中にはそうじゃない賑わうところもあって、そのサインはほんとにこれでいいのかというのは、実はあるんですよ。ですから、このトーンで全体の調和を保ちながら、そういったところはこうしますというのがあると、もっとよくなるかなと思います。誰もなかなか言わないと思いますので。</p>
武山部会長	<p>今のは鋭いご指摘で、上海は通りごとに照明とデザインを変えているんですよ。ある通りに行ったら照明柱が全部「龍」になっていて、その下にバナーがバーッとついているし、ある所へ行ったら、もっと地味な木製になっているし、店舗に全部真っ黄色の看板をつけている通りもあって、そういう通りを完全に個性化するというようなことをされております。国分町のああいう通りだけは、少し賑わいを感じるような、個性化というようなアイデア、非常に面白い視点かと思えます。</p>
増田専門委員	<p>もう一方で、通りや交通案内のサインがあるルールで決まっています。それとの関係性を試みるのは主体が違って大変だとは思いますが、こちらへ曲がると仙台駅というのが、交通サインとして出ていますので、一応その現実もみて、この案内との関係性を整理できるようなルールがあるといいかなと思います。</p>
武山部会長	<p>今回は、道路標識は入っているんですか。</p>
都市景観課長	<p>いえ、所謂警察所管といいますか、道路交通法関連のものというのは、かなりハードルが高いというか、アンタッチャブルだろうということですので、車関係でもその他の駐車場はあちらとか観光地はあちらとか、プラスアルファのものについては対象にしておりますが、基本的には別物と考えております。</p>
武山部会長	<p>方針観点等については、大体意見が出されたかなと思いますが、今後の進め方について事務局から少しご説明いただけますか。</p>
都市景観課長	<p>皆さんと日程調整させていただいておまして、次回部会を開けるのが4月15日となります。それまでに今日の色々なお話、或いは前回のお話もまだ十分反映できていませんので、それらを反映させて、今回はイ</p>

	<p>メージだけでお示した案を、少し中身のあるものとしてお示しできるようにと考えております。</p> <p>そこで、仕上げに向けたご意見を賜りまして、5月に審議会をやりたいと。その審議会の前段で三度目の部会をやらせていただいて、皆さんの意見を反映した形で、パブリックコメントにかけていきたいと思えますという話をしたいという段取りで考えております。順調にいけば、6月にパブリックコメント。その後、結果報告で、内部的な決裁になるか、手続きは未定ですけど、仙台市の上位方針としての位置づけをしていくということで考えております。</p>
武山部会長	<p>ワーキングというのは、事務局と言いますか、役所の方ベースに専門家の方、具体的にデザインされる方が入る組織になるのでしょうか。</p>
都市景観課長	<p>今、申し上げたのは頭上にある、この部会と審議会の話まででございます。これと並行しまして、先ほど写真にも出ておりましたけれども、庁内の関係部局とは頻繁に、テーマごとにですとか、或いは仙台駅の周辺と言いますか、国際会議の時にコアになる部分、国際センター駅一帯というテーマでワーキンググループ的に協議したり、そういうことを随時別の作業としてやっております。</p>
武山部会長	<p>作業をどんどん進めていただいて、その結果をこの審議会、専門部会の方でやりますよね。その時にワーキングの方に適宜、今日ご参加の方々にも少し入っていただくような場面があってもいいですよ。</p>
都市景観課長	<p>勿論、歓迎でございます。ぜひお入りいただいて色々ご意見いただければ、それは助かるところでございます。</p>
武山部会長	<p>特に、先ほどから話題になっている乗り換えのことですとか、それから観光との関係性というのは、そういう関係の組織とご一緒にしていただきたいと思えますけれども。</p>
都市景観課長	<p>はい、それで私が先にいうのはなんですが、JRさん等に今回我々が考えているスケジュールの前に、全部了解事項として、合意事項を全部出してくださいというのは、あまりに酷かなというところがございますし、そこまでハードルを高くしてしまうと、なかなかご参加いただけないかもしれませんので、そこまでいかないまでも出だしとしては、JRさんなりのルールみたいなものもあると思えますので、こここのところには出さないようにしているとか、そういうところを教えていただくことから始めて、仙台市としてはお客様を誘導するためには、こういう形が良いと思うのですがと、仙台市が勝手に作ったというよりは、一応ご意見を聞きながら作ったという形にできれば、ありがたいなど。そういう形でご参画いただくとありがたいです。</p>
武山部会長	<p>どんどん具体的に進めていかないと仕方がありませんので、よろしく願いいたします。</p> <p>それから、1枚目、2枚目は大分話に出ておりましたが、この3枚目は特に説明はございませんか？</p> <p>ちょっと小さくて見えないんですけども、もう少し大きいのがありましたらいいなと思って、拝見しておりました。もし補足で説明いただけましたら。</p>
都市景観課長	<p>現物を出してしまうと、繰り返しになってしまいますが、決まったみ</p>

たいな印象になってしまうのでどうかと思ったのですが、素案があるわけなのでご覧いただきます。

現在、監修をしていただいております、先ほど申し上げましたサインデザイン協会会長さんが、色々とお考えいただいているものですが、今お示ししている巻絵のようなもの、イメージとしてお手元にお配りしています。

細かくご説明いたしますと、左から「歩行者系サイン」は、このような色味やデザインではどうでしょうかというところです。

次のところでは、具体的に東西線の特定駅の駅前広場について検討している箇所がありますので、そこについてはこういった形で、調和した形にしてはどうかというのがあり、同じく駅周辺での東西線の駅から案内誘導をするためのサインというのは、こんな形かなというものです。

それから、ちょっと斜頸に見えている小さいのがありますけれども、これはキスアンドライドで、こんなような色味はどうかというもの、それからその次のあたりは、駅の西口のペDESTリアンデッキのところも、所謂問題・課題のところでも申し上げましたが、フェンスのところにはり紙風についているものが、バラバラあってあまり美しくないで、こういった感じで整合できないかなというものです。

その隣からは、矢羽根型から始まってという、アーケードの商店街についても、こういう形で案内誘導してはどうかというのがあり、そのお隣りには、小学校とか避難場所とかがありますけれども、問題・課題でご説明したことがありますけれども、学校における案内誘導サインで、あまりにもバラバラなので、特にアイデアがないようなものには、この辺で統一的にやっていただいているかどうかという提案でありました。

その次に、黄色いサインから地図があって、波の形のところまでのものは、防災系のサインでして、こちらに避難してくださいですとか、津波はここまで来ましたとか、そういったサインでございました。

それから、そのお隣は自転車系でございます。この辺の色味なんかはまだ再検討中でございますけれども、自転車のレーンはこちらですよという、自転車系のサイン。

それから、お隣の緑色の三段階になっておりますけれども、これは郊外部にある公共施設への案内誘導サインについては、こういった色味のものではどうかと。

あと、右側は、ご提案いただいている内容で、今回のガイドライン自体になるかはわかりませんが、例えば演出するような時には、こういった方法論がありますねというご提案をいただいていると。

大体そういうお話でございまして、これを巻絵風にといいますか、一連のものにしてお示しいただいた意図というのは、恐らくは今回ご提案いただいている会長さんの街はシームレスに誘導していかなくてはならないという、これは景観総合審議会の前回ご欠席でしたが、涌井先生も所謂、街の連続性ということを重視してございまして、場所によって色々なものがある、特徴がある、それらが皆同じであるという意味ではなくて、街は繋がっているというコンセプトだと、私は思って理解しておりますが、こういった形でお示しをしているというものでございます。

武山部会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>この中で自転車との関係は、リストには載っていなかった観点かなと思いますし、車との接点ということで、パークアンドライドですか、これも非常に重要なことだと思いました。</p> <p>更に重要なところでは、防災も確実に入れておかないといけないことと、右端のパナー、こういうものを特に防災会議でも出てくると思いますが、それを迎えるにあたってのウェルカム的なパナーですとか、その後の利用というのも当然考えられると思います。</p> <p>今日も話題になりましたどういう色を基本色として使っていこうとするのかというカラーであるとか、パターンなどの検討も、もう、そろそろ観点の中で含んでやりだしてもいいかなと、拝見して思いました。</p> <p>非常にわかりやすい図だと思います。ありがとうございます。</p> <p>何かお気づきの点などございましたらいかがですか。</p>
増田専門委員	<p>あの中で、自転車が臙脂で書かれていましたが、ダテバイクの乗り換え地点があつて、あのプロジェクトはいつまで続くのかよくわかりませんが、やるということであれば、もう少し積極的に自転車への乗り換え拠点ですので、そういう案内をしたらいかがかと思います。</p> <p>もう一つは、民活でやっているバスのバス停が、今、過渡的に色々なタイプが併存しているんですけども、そこにも今後このルールを適用していくんだと思いますが、なかなか広告の出し方等も含めて、企業さんとのやり取りもあるのかと思うのですが、そこら辺も整理していただければと。</p>
武山部会長	はい、わかりました。
阿部専門委員	<p>基本は非常によろしいかと思うんですけども、観光の視点から考えて、もうちょっと伊達正宗、伊達のイメージがポンと出るようなサインだとよいと思います。</p> <p>よその人が仙台に来たいと思うフックに看板自体になるというか、街の歴史、観光資源など、そのために仙台へ行くということがイメージできるデザインがあっても面白いのかなという感じがちょっとしました。やっぱり、伊達という粹というかおしゃれなイメージもあると思うので。</p>
武山部会長	<p>パブリックアートまではいかないけれども、ブロンズ系で触れるようなサイン系のオブジェがずっと続いているとか、そういう柔らかい系のサインというところでしょうか。</p> <p>今日、お示しいただいているのは、非常にオーソドックスな公共サインですけど、もう少し柔らかい系、演出系と言いますか、そういう部分も可能であれば一部取り入れていたらどうかというご意見と伺いました。</p> <p>では、大体そのような形で、方針は事務局の方でマトリックス状に整理していただいたものに加えて、特にランドマークの件は、十分に情報を整理してくださいということ。</p> <p>あとは、カラー、乗り換え、多言語。先ほどから申し上げた観点。</p> <p>それからデザイン案を示すことは、それなりにプロにお願いすればできると思いますが、それを継続するための仕組みづくりということを、ぜひ、お願いしたいというのを方針として確認したいと思います。</p>

	<p>そして、今後の具体的な進め方としては、事務局で色々作業を進めていただきますが、この部会のメンバーも積極的に参加して下さるようお願いいたします。4月15日に再度、専門部会を開会しまして、今日出ました懸案事項に対応した案を見せていただきたいと思います。</p> <p>他は特に今のまとめにつきまして、ご意見ございますか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p><b>【委員了解】</b></p> <p>では、事務局の方にお戻しします。</p>
都市景観課長	<p>本日は長時間にわたり、ご審議をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>ちょっと打ち明け話をいたしますと、大変短い時間で急に皆様方にお声掛けをして、前回にいたっては、お集まりいただいていきなり資料をパワーポイントでお示した挙句に、その場でご意見をいただいて、これはなかなかすぐにはわからないよと言われてしまうのではないかと、まとまりがつくのであろうかという不安感を持っておりましたが、終了後の事後談の打ち明け話をいたしますと、とても参考になる建設的な意見がいただけて、ちょっと上から目線で大変失礼な言い方かもしれませんが、委員の選任の仕方は正解だったね、本当によかったねというお話が内部でもいただいております。</p> <p>今日もとても参考になるお話をたくさんいただきました。</p> <p>いきなり一度に何かできるというわけではないですけれども、スタートラインを間違えると全く違う方向に行ってしまうと思いますので、ここはきっちりと地に足を付けて取り組んで参りたいと思いますので、どうぞこの先も、絶大なるご支援をいただきたいと思います。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
5. 閉会	
事務局	<p>委員の皆様、今日はありがとうございました。</p> <p>次回の専門部会につきましては、改めてご連絡いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、平成25年度仙台市景観総合審議会 専門部会を閉会いたします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>